

⑧ 留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会

20年後に実現したい姿

【国際交流が暮らしの中に根づいている社会】

●行政、企業、地域、府民のあらゆるステージにおいて、日常的な国際交流が実現しています。

【多文化共生の社会】

●外国人が地域の担い手・働き手として参画し、様々な国籍や文化を持った府民が相互に理解を深め、互いを尊重し合いながら暮らす多文化共生社会が実現しています。

4年間の対応方向・具体方策

様々な地域との国際交流を進めます。

- 1 アメリカやイタリア等の地域と新たな分野での交流を推進
- 2 友好提携州省との青少年の相互派遣、国際文化芸術公演、スマートシティ連携等の交流の推進

外国人が地域で住みやすい多文化共生のまちづくりを進めます。

- 3 インターナショナルスクールの誘致や外国人の日本語教育の機会の増加と内容の充実、災害時支援体制の整備等、地域の受入環境の整備
- 4 外国人に対する生活情報の提供・相談体制の充実

世界中から京都の未来を担う留学生を誘致し、卒業・修了後の京都定着を進めます。

- 5 京都の大学等への留学生誘致のため、国内外へのプロモーション等の実施
- 6 京都の大学等を卒業し府内企業に就職した留学生OBと留学生との交流会の開催等、マッチングの促進
- 7 「留学生スタディ京都ネットワーク」、ジョブパークを中心に、留学生の誘致から就職までの総合的支援の実施